

2011年4月18日

東レフィルム加工株式会社

## 台湾で表面保護フィルムの現地生産進出を決定 2013年から量産開始 液晶テレビの需要拡大に対応

東レフィルム加工株式会社(本社:東京都中央区、社長:山口進、東レ94.41%出資、以下「TAF」)は、このたび、台湾に表面保護フィルムの製造・販売会社を設立することを決定しました。本年5月に台湾・高雄市に新会社「東麗尖端薄膜股份有限公司」を設立し、自己粘着性表面保護フィルム“トレテック”の生産工場を新設します。新工場は2013年1月からの稼働開始予定で、同年夏までに生産能力を年17,000トンに順次拡大する計画です。今回の決定は、東レグループ・フィルム事業にとって初めての台湾事業進出になるとともに、“トレテック”初の海外生産進出になります。

“トレテック”は、TAFが開発したポリエチレン系の自己粘着性表面保護フィルムです。現在、液晶ディスプレイ(LCD)をはじめとする各種光学用フィルムの製造時における工程紙をはじめ、プラスチック板の表面保護フィルムなど幅広く使用されています。

近年、LCDバックライトのLED化の進展に伴い、その必須部材となる輝度向上フィルムや導光板向けを中心に表面保護フィルムの需要がアジアを中心に急拡大しています。好調な世界需要を背景に、TAFでは“トレテック”のフル生産を継続してきましたが、供給能力のさらなる拡大が急務となっていました。

今回の台湾進出は、導光板の生産で世界最大シェアを誇る台湾の主力メーカーから現地生産進出の強いご要請をいただいたことをはじめ、台湾における法人税減税による企業優遇策、および台湾・中国間のECFA(两岸経済協力枠組協議)締結による輸出競争力向上などを勘案して決定しました。

東レグループは今回設立する新会社を、成長市場のアジアにおけるフィルム加工事業の橋頭堡と位置付け、安定供給体制を確立することでお客様対応の強化を図ります。同時に、成長領域である情報通信分野向けの新製品開発を推進し、フィルム加工を含めた東レグループのフィルム事業のさらなる拡大を目指します。

### <新会社概要>

1. 会社名 : 東麗尖端薄膜股份有限公司
2. 設立 : 2011年5月(予定)
3. 所在地 : 台湾高雄市路竹郷 南部サイエンスパーク高雄園區
4. 資本金 : 35億円(1,237百万NT\$)
5. 出資 : 東レフィルム加工(株) 70%、東レ(株) 30%
6. 事業内容 : ポリオレフィン(PE・PP)系フィルム“トレテック”の製造販売

以上